

南松 ONESTORY

2021.06.04

rough plan & image

concept

毎日は物語。

訪れる誰かが、毎日の中の、決して大袈裟ではない、

ちょっとした物語を体験する。

そんな場所になることをテーマとします。

” ONE STORY ” には一階建てという意味もあります。

平屋で横に大きく広がる建物は、迫力がありつつも

アルプス山脈の景観を邪魔しません。

” 南松 ” という地元で親しまれる名称を取り入れることで

地域に溶け込み、愛されやすいものとなります。

そして、地域と繋がり、

一つのちょっとした物語がたくさんの物語へと広がります。



STORY 1

ベーカリー ×

雑貨店 ×

南松

南松の住宅街に住む主婦のAさんは家事を終え、散歩をしながらふらっと立ち寄った雑貨屋さんで、一目惚れしたお洒落なお皿を購入。早速使いたくなったAさんは、隣のベーカリーで最近話題のクイニーアマンをテイクアウトしていくことを決めました。自宅でおろしたての食器に盛り付けられた人気のパンと、お気に入りの紅茶で昼下がりの優雅なティータイム。



STORY 2

コイン
ランドリー ×

ジェラート
ショップ ×

南松

せっかくの休日だけど天気は雨。残念に思いながらもBさんは溜まっていた洗濯物をコインランドリーに持っていきました。待っている間、甘い物が食べたくなったので隣のジェラート屋さんへ。しかし種類が豊富でなかなか決められない！洗濯を畳みながらBさんはふと思いました。「そうだ、この後は近くの映画館で映画を見てこよう。」





ファサードの外壁や、軒天で木や漆喰などの自然素材を使用し、信州松本らしさのある建物に仕上げます。

大窓から覗く店舗内も自然の物を使い仕上げることで、全体としての一体感を生み出します。

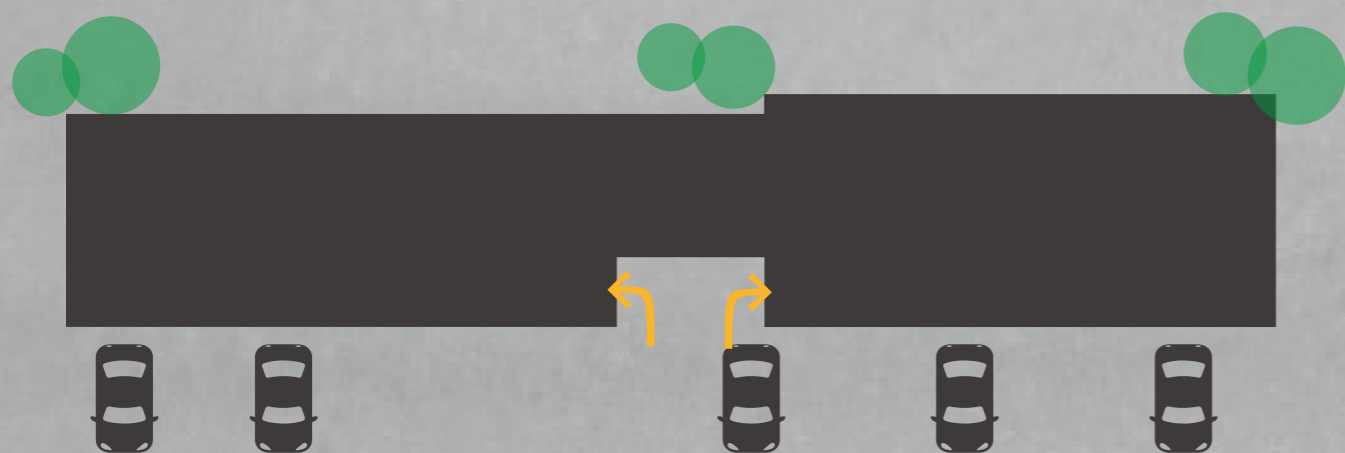
道路側の建物南面では、シンプルかつ、通行する車、歩行者の目に留まるようなサインの設置。

また、こちらの面にも店内を覗けるFIX窓を取り付けることで、多くの人々の印象に残るような設計となります。



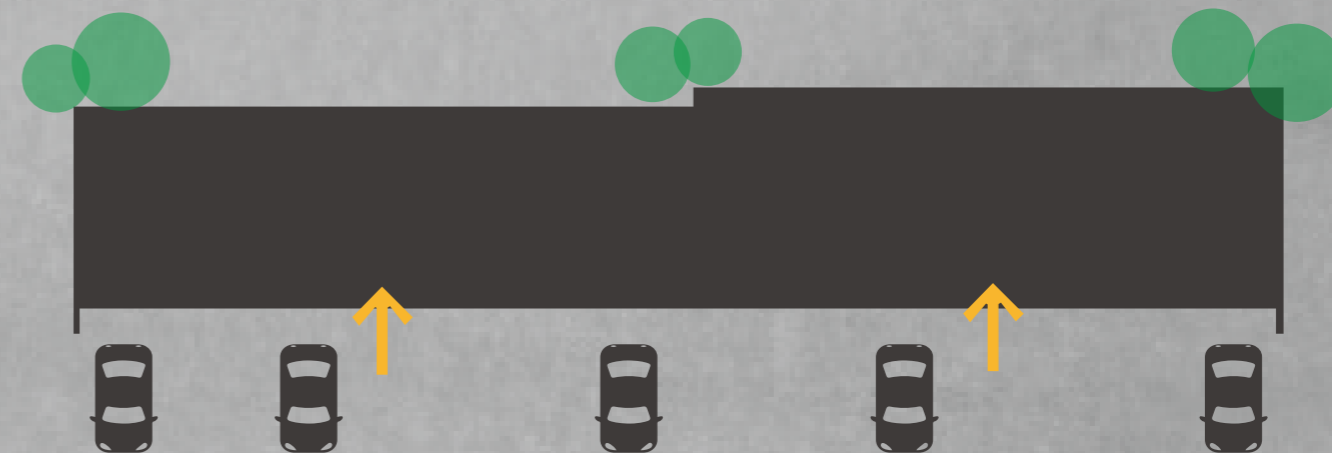


PLAN 1

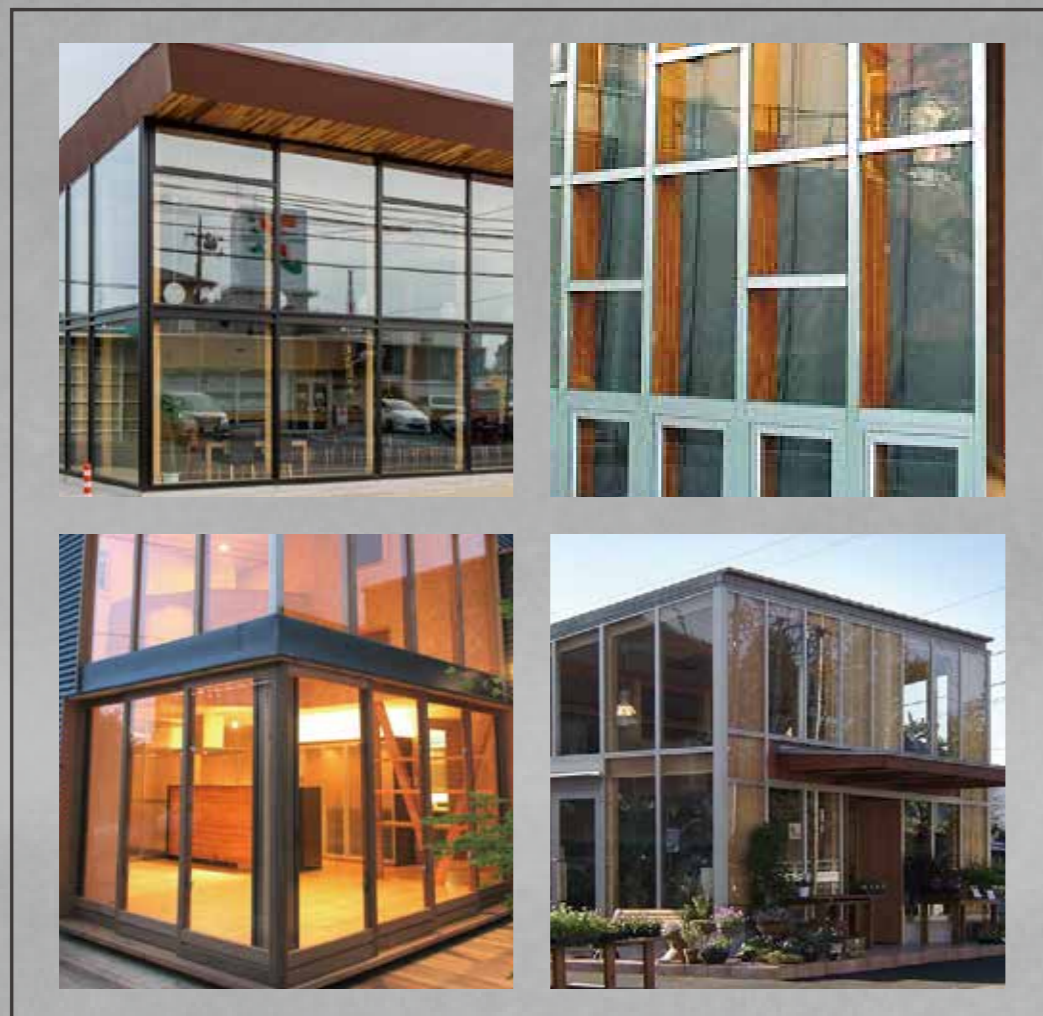


コの字に窪んだエントランスを設けることで、
人々の流れに交わりができて建物の賑やかさを演出します。
また、駐車場のしやすさにも配慮しています。

PLAN 2



正面を一面フラットなガラス張りにすることで、
最初の印象としての迫力、建物として一体感が生まれます。



WORK

カーテンウォールという施工方法。
柱、梁といった構造体だけで建物を支え、
ガラスなどの外壁を貼るように取り付けるという工法。

これに似た施工方法を行い、開放感あるファサードと
すっきりとしたデザイン、また木の温かみをも感じさせます。

SIGN

やまびこ道路側外壁にシンプルかつ、お、と思わせる
テナント名のサインを。
各テナントの店舗のサインは建物正面に、例えば、
アイアン製切り出し文字で統一し設置することで、
全体でまとまったものとなります。

